

やさいレポート (令和6年11月号)



キャベツ



発行日：令和6年11月8日

1. 卸売価格の動向

○175 円/kg (11月6日)

➢ 平年比：197%

○11月の価格見通し

前半：高値水準で推移

後半：平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○212 円/kg

(10月11日全国平均)

➢ 前月比：138%、平年比：123%

➢ 東京：251 円 (1玉)

➢ 大阪：258 円 (1玉)

○特売店舗数/調査店舗数

➢ 東京：6/20 (前月 8/20)

➢ 大阪：2/10 (前月 5/10)

(機構調べ)

3. 家計消費動向

○522 g/人 (9月全国平均)

➢ 前月比：111%

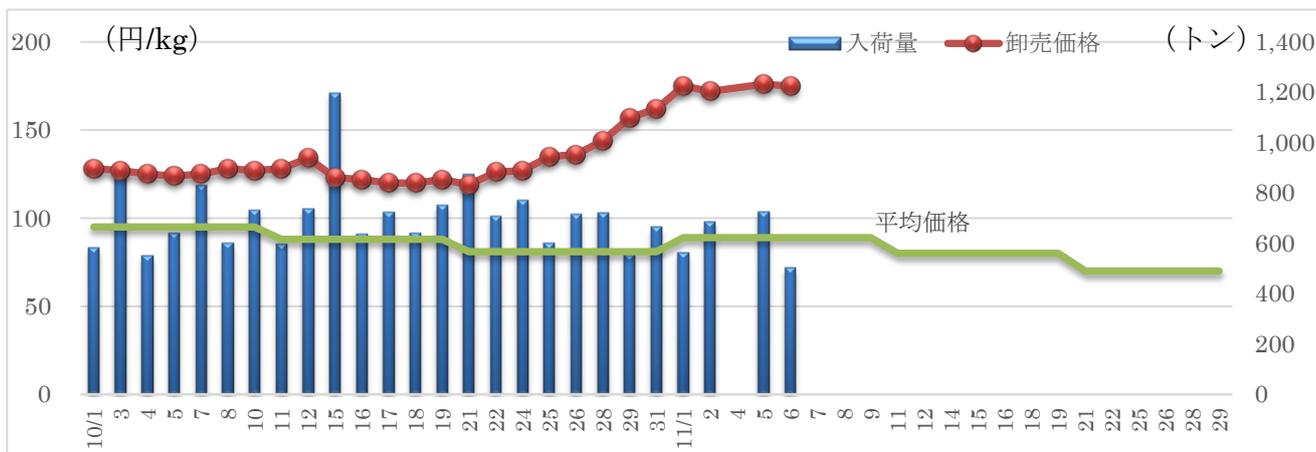
➢ 前年同月比：101%

○5,823 g/人 (2023年年間)

➢ 前年比：99%

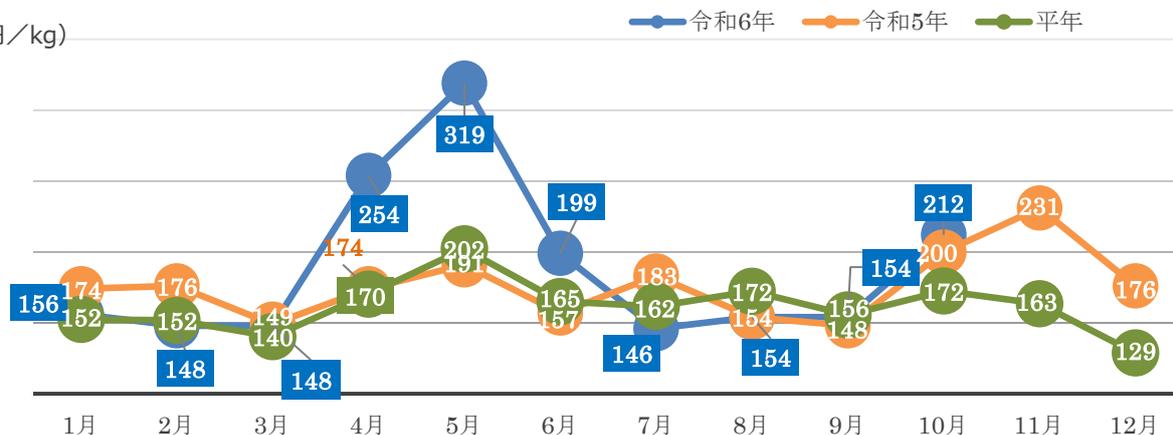
(総務省統計局家計調査)

4. キャベツの卸売価格と入荷量の推移 (東京都中央卸売市場)



5. キャベツの小売価格の推移

(円/kg)



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道南幌町 (8/28)	減少	豊作	平年並み	平年並み
岩手県いわて (8/23)	前年並み	やや不良	遅い	平年並み
群馬県鳩恋村 (9/24)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
東京都練馬区 (8/5)	前年並み	-	-	-
長野県南佐久 (10/11)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
静岡県西遠 (9/27)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
愛知県田原市 (10/17)	前年並み	やや不良	遅い	遅い
大阪府泉南 (10/30)	やや減少	平年並み	遅い	遅い
和歌山県和歌山 (10/31)	減少	平年並み	平年並み	-
福岡県JA北九 (10/28)	減少	やや良	遅い	-

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



愛知県田原市：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (11/09~12/06)

		気象情報		
11/9~ 11/15	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または曇りの日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。			
11/16~ 11/22	北日本日本海側では、西高東低の気圧配置が弱く、寒気の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨または曇りの日が少ないでしょう。 北・東日本太平洋側では、湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 東日本日本海側では、西高東低の気圧配置が弱く、寒気の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。 西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。			
11/23~ 12/6	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または曇りの日が多いでしょう。 北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
	平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)	
北日本	日本海側	低10 並10 高80% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
東日本	日本海側	低10 並10 高80% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
	太平洋側		少10 並40 多50% 多い見込み	少50 並40 多10% 少ない見込み
西日本	日本海側	低10 並10 高80% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並30 多50% 多い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み

(気象庁1か月予報)

8. 輸入動向 (生鮮キャベツ)

○822トン (9月輸入量)

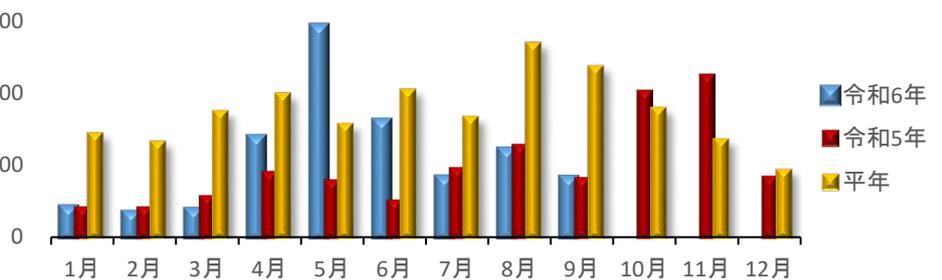
4,000 (トン)

➢ 前年同月比：101%

○輸入先国ベスト3

全量中国からの輸入

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

10月は、主産地の群馬産が8月の高温と降雨の影響により歩留まりの低下がみられることに加え、9月の夜温が低かったため小玉傾向で出荷量が減少し、月間を通して平年を大幅の上回る価格で推移した。

11月は、千葉、愛知に主産地が移行するがいずれも夏場の高温により定植遅れがみられる。茨城は前年同様作柄不良でまとまった量が出るのは後半とみられる。価格は前半は平年を上回り、後半は平年並みの見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793